

吹田東高校 46期生 3年生進路だより No.2

将来の自分のためにできること

2021/04/22

評定平均値を意識した勉強を！

1. 評定平均値（全科目の評定を足し、全科目数で割った数値）について

① 5段階法と100点法の落とし穴

5段階	100点法	例	国総	現社	数I	数a	平均	評定平均
5	100 ~ 80	a	65	65	80	80	72.5	4.5
4	79 ~ 65	b	78	79	79	78	78.5	4.0
3	64 ~ 45	c	45	45	80	80	62.5	4.0
2	44 ~ 40	d	65	65	45	45	55.0	3.5
1	39 ~ 0	e	79	79	64	64	71.5	3.5

考えてみよう！？

bさんとcさん、dさんとeさんでは、平均点で16.5点もちがうのに評定平均値は同じ？

aさんbさんでは、平均点でbさんが6点も高いのに評定平均値はaさんの方が0.5も上？

この差はどこにあるのだろうか？ 又、君たちはどうすればよいのだろうか？

② 評定平均を上げるために！

- ・授業を真面目に受け、欠席・遅刻を無くす。→（平常点のアップ！）
- ・授業での課題・宿題等は、期日までに必ず提出する。→（平常点のアップ！）
- ・余裕をもって試験勉強をする。→（考查点のアップ！）
- ・評定平均値をあげるために、教科毎に検討して対策を立てる！

総合型選抜（AO＝自己推薦）・学校推薦型選抜（公募制推薦・指定校推薦）には、3年の1学期までの調査書（成績）が利用されることがほとんどである。

（*場合によっては2年末までの可能性も）

3年の1学期の成績だけで、0.1評定平均値をアップするのは非常に難しい。

一般型選抜では、3年の2学期までの調査書（成績）となるが、卒業式以降の受験、または浪人生は学年末までの調査書（成績）となる。

- ③ 学校推薦型選抜（公募制・指定校の二種）における評定平均値の取り扱い方
- ・ 学校推薦型選抜（の公募制推薦）では、評定平均値は下記のような扱いである。
 - 参考程度
 - 点数化して学科試験と同等に扱う。〔1倍～2.0倍〕

*資格（英検・漢検等）も級に応じて点数化する学校もある。

- ・ 学校推薦型推薦（の指定校推薦）では、評定平均値の代わりに「学習成績の概評」の基準を設けているところもある。

「学習成績の概評」は、この「評定平均値」により
学年全員の成績を次の表のように5段階に分け、
その生徒の成績を位置づけるものである。

概評	評定平均値
A	5.0～4.3
B	4.2～3.5
C	3.4～2.7
D	2.6～1.9
E	1.8～0

指定校推薦では、推薦基準に

- ・すべての科目の評定が「〇段階以上」
- ・特定の科目の評定平均が「〇段階以上」

と書かれているものもある。

- *また、学校推薦型（公募制推薦・指定校推薦 共）の場合、欠席日数の多い人は不利になる場合がある。3年間の欠席日数の合計が概ね10日を越える場合は多いと判断され、応募できないところもある。

2. 自分の成績に対して作戦を考える。

•

自分の2年までの評定平均値をここに書き写そう。

自分の志望校の**学校推薦型選抜**の基準はどうなっていますか？

- ・全体の基準がある………（ . ）以上
- ・教科ごとの基準がある…（ 科が . ）以上
 （ 科が . ）以上
- ・取得資格で加点がある…（ が 級（点）で 点を加点）
 （ が 級（点）で 点とみなす）

特待生にチャレンジしたり、奨学金で無利子になったり、入学後の学費免除や半免等、成績を上げると優遇される確率が高くなる。

45期生(今年3月の卒業生)から46期生にエール

愛仁会看護助産専門学校

私が受験勉強を本格的に始めたのは八月頃でした。新型コロナウイルスの影響で六月頃まで休校になり、休校期間は学校の課題だけして後は家でだらけていました。七月頃からこのままではだめだと思い、たくさんの大学や専門学校を調べました。進路を決定する際に最も悩んだころは大学と専門学校どちらにするかということ、そしてその中でどの学校を受験するかです。大学と専門学校では四年と三年で学校に通って学ぶ期間も異なり、学校の雰囲気や系列の病院、家からの通いやすさなどさまざまに決定するのに時間がかかってしまいました。**最終進路を決定するときに私が最も大切にしたことは自分の目で直接見てどのような学校か確かめることです。**新型コロナウイルスの影響でオンラインでオープンキャンパスを実施する学校が多かった中、出来るだけ多くの学校に足を運び、自分がここで学びたいという学校を探しました。最終進路を決定したのは八月と遅い時期だったのですが、自分が本当に行きたいと思える学校を見つけられたことによって目標を持って受験勉強に取り組めたので良かったと思います。

私の受験科目は現代文、英語、面接、小論文でした。その中で最も大変だったのは小論文です。小さい頃から文章を書くことが苦手だったのと、小論文を書いたことがなかったのでとても苦労しました。小論文の本を読み、小論文とはどのようなものなのかを知る所から始め、色々な題でたくさん練習しました。それを学校と塾の先生に見てもらい添削してもらいました。その時に重要視していたのはたくさんの先生に見てもらおうということです。さまざまな視点で見ってもらうことによって、視野が広がったので良かったと思います。現代文と英語は、先輩方の受験レポートを見て問題の傾向を知り、それに沿って勉強したり、過去問を解いたりしていました。私は一週間で〇ページ終わらせるなどといったことは向いていないので、一日英単語百個、漢字二ページなどと決めて毎日取り組んでいました。私は勉強を始めるまでなかなかやる気が出ないのですが、ここだけやろうと決めて勉強を始めると「他のところももう少ししよう」となってきて最終的に何時間も勉強できるようになっていました。**勉強が嫌い・したくないと思う人も一旦初めてみてください。**私も最初の方は一時間するのもしんどかったです。ですが、日々の積み重ねによって確実に勉強できる時間と量が増えます。そのことが自分自身の自信につながり、やる気も上がっていくと思います。

(中略)

最後に、受験は辛くてしんどい時の方が多く大変ですが、その分合格できた時の喜びはとても大きいです。なので負けずに最後まで頑張ってください。応援しています。

43期生から46期生にエール

龍谷大学 社会学部

私は3年生までサッカー部に所属していました。部活動と勉強の両立が難しく、テスト週間だけ勉強をし、テストが終わればその内容をほとんど忘れていました。だから5月から始めた受験勉強はほとんどゼロからのスタートでした。

私の英語の勉強法としては、文法は1つの参考書をやり込むことです。だから本屋などで参考書を何冊も買う必要はなく、**1冊の参考書を表紙が取れるくらいまでやり込むことが大事です**。あとは単語です。単語は毎日やりましょう。私は一時期、単語を疎かにしている時期があり、その時の模試ではいい結果が出ませんでした。だから単語は1～100、1～200などのように毎日頭に定着させることが大事です。最初はとても時間がかかるかもしれませんが、毎日やってると1時間で1900個を復習できるくらいになれます。長文読解は単語力がついていけば、あとは慣れです。たくさん文章を読み、わからないところは文型を使い精読することが大事です。読んだ長文の量が増えると、その分正確に読めるスピードも速くなります。

現代文は、硬い問題文の内容を自分で噛み砕いて頭に入れるため、語句の意味を覚えることが大事です。私はそれをやらなかったため現代文は苦手なままでしたが、それにきちんと時間をかけていた友人は国語が得意になっていた印象があります。あとは問題をたくさんこなせば国語は解けるようにはなると思います。

古典は単語と活用などの文法を覚えて問題をこなせばできるようになると思います。

あとは、**自分の志望校をなるべく早く決め、過去問を解いて学校の傾向を掴むことが大事です**。私が受験した龍谷大学の英語では長文問題が20問、会話問題が10問、並び替え問題が5問なので、ほとんどの勉強時間を長文問題にあてました。だから私は9月から過去問を始めましたが、平均して9割くらいは解けていたと思います。

皆さんは、これから模試などを受けるとと思いますが、模試の問題と大学の問題は形式が全然違うので、判定はあまり気にしないでください。A判定でダメだった人やE判定で合格した人を1月までだけでたくさん見てきました。判定よりも自分ができたこと、できなかったことを気にしてください。

これからたくさん悩むこともあると思いますが、

私たちの生きているこの世でおきることには

すべて原因がある、

これが「因」です。

起こった結果が「果」です。

因果応報というように、

必ず結果は来るのです。(瀬戸内寂聴)

みなさん自分の進路を実現できるように頑張ってください。